

Eコース (貸切バス10時間)

縄文遺跡とニセコ・小樽の街並見学

函館市縄文文化交流センター

北海道唯一の国宝「中空土偶」を常設展示する博物館。函館市内(南茅部地区)の遺跡から発掘された、縄文時代の石器や土器、装飾品などの遺物約1,200点も展示。

ニセコ酒造

1916(大正5)年創業。「加水調整をしない原酒」「水」「空気」「環境」にこだわる酒蔵で、水はニセコワイス山系の雪清水と、羊蹄山からの「噴出し湧水」を使用。蔵は、低温発酵に適している豪雪のかまくら状態の地区にあり。

ニッカウキスキー工場

石造りの美しい正門を入ると1936(昭和11)年にウイスキーづくりが始まった15万㎡にわたる余市蒸溜所が広がり、一号貯蔵庫は、床は土のままに最適な湿度が保ち、外壁は石づくりで夏でも冷気が保てるよう設計されている。

小樽運河

小樽運河は1923(大正12)年完成、内陸を掘り込んだ運河ではなく、海岸の沖合いを埋立てて造られ、直線ではなく緩やかに湾曲しているのが特徴。運河の全長は1,140mで、幅は道道臨港線に沿った部分が20m、北部は40mとなっている。

9月22日(日) 8:00~18:00

8:00 JR函館駅(集合)
↓
函館市縄文文化交流センター
↓
丘の駅
「噴火湾パノラマパーク」
↓
道の駅「ニセコビュープラザ」
↓
昼食(車中)
↓
ニセコ酒造
↓
ニッカウキスキー工場
↓
小樽運河
↓
18:00 JR札幌駅(解散)



函館市縄文文化交流センター



小樽運河



昼食(かなやのかにめし)
※なお、他に「幕の内弁当」もご用意しますので、事前に日本旅行北海道よりご確認ください。

最少催行人員…30名

参加費…15,000円

旅行条件…バス、

昼食・施設入場料込み

各ルート・都市間アクセス概略

コース概略ルート

- ④ 江差にしえ街道散策コース
- ⑤ 縄文遺跡とニセコ小樽の街並見学コース



都市間アクセス概略

